

傾斜空間 第三回公演

ユダヤプロトコール

作／田口浩一郎



登場人物

代理：日本の全権代理。世界人種差別問題会議に出席。

チベット：チベット亡命政府の代表。代理と同じく世界人種差別問題会議に出席。

書記官：国連の職員。世界人種差別問題会議の女性書記。



スーツの男が演説している。

代理

みなさん、人類は大航海時代以来、かつてない競争の時代に突入しております。西欧列強による植民地争奪戦の結果、ある黒人は奴隷として売られ、あるインディアンは住処を失い、そしてまた、あるシナ人は家族を失いました。

少数とはいえ火砲の威力に優るアングロサクソンは、在地勢力を次々と駆逐し、まさに世界帝国といえるばかりの大版図を実現したのであります。しかしながら、彼らアングロサクソンは、その過程で非キリスト教徒を、非白人を野蛮人とみなし、苛烈な収奪と虐殺を行ってきました。

彼らは連戦連勝に驕り、原住民はことごとく蔑視され、強制された重労働により、その命を失ったものさえいるほどです。その傾向は1932年、ベルサイユ体制成立後の現在もいまだに続いています。人、これを人種差別と呼び、我々、大和民族も一貫してその撤廃を主張してまいりました。

世界情勢、風雲急を告げるも、このような議義を見逃すことなく、国際会議を開催するに踏み切られた国際連盟に敬意を表し、この会議を機に人種差別が一掃され、もって世界平和に資するを願って挨拶に代えさせていただきますものであります。

ソデから拍手が聞こえる。代理、気がついて振り向く。すると、マニ教の法衣を着た男が入ってくる。

チベット うまい、うまい

代理 …。

チベット 遅刻しました。申し訳ない。

代理 あ、いや。

チベット チベット亡命政府です。

代理 ああ、どうも。

チベット パンチエン・ラマ9世の代理でまいりました。

代理 それは、ご苦勞様です。

チベット もう、始まつてますか？

代理 …いや、我々以外はまだ来てませんから。

チベット そうですか、チベットの席は？

代理 さあ、好きなどこに座ればいいんじゃないですか。

チベット ああ、では、失礼して。

チベット 下手の椅子に腰を下ろす。チベット、部屋を見渡す。

チベット いやあ、それにしても。

代理 …。

チベット 狭いね。

代理 ええ。

チベット 先ほど間違つて隣の大きな部屋に入つてしまつてね。そこは盛り上がつてたなあ。

代理 そうでしょうね。

チベットあと何カ国ぐらい来るんですか？

代理 いやあ、どうでしょう。2、30は

チベット：…入りますかね？この部屋。

代理 ちと、狭いですな。

チベット 狭いねえ…。

ここでチベット、代理がめくる紙に目をとめる。

チベット それ、何です？

代理 今回参加する国や団体のリストですよ。もらってませんか？

チベット いや。

代理 そうですか。いやあ、しかし、欠席が目立ちますな。

アメリカ黒人代表、子供の頃に受けた性的虐待がフラッシュバック。欠席。

インド代表、白人のリンチに遭遇、非暴力を貫き重体。欠席。

エスキモー代表、生肉にあたり欠席。

南米フェミニスト同盟、風邪で欠席。

チベット やる気ないなあ

代理 ええ。

チベット 中国は？

代理 彼らは差別されてる自覚がありません。欠席。

チベット 日本は何を差別されとるんですか？

代理 …いや、際立つては…：なにも、ただなんとなく出なきやまずいかなーって、思ったみたいで、全国的に。

チベット ふーん。

代理 チベットは？

チベット 我々はもう、差別も何も。イギリスに追われて中国に逃げましたらね、中国でも虐待を受けましてね、次どこに逃げたら良いですかね？

代理 いや、私に聞かれてもね。

チベット あんたは何大使ですか？

代理 私は全権大使の松岡君と来たんですよ。私は彼の名代ですから。

チベット ほう、ではその全権大使は。

代理 あなたが間違つて入った部屋でもっと深刻な話をしています。

チベット 深刻な話？

代理 満州はご存知ですか？

チベット ええ。

代理 日本と朝鮮の北、中国の東北…。

チベット 知つとりますよ。

代理 では、去年来、我が国の軍が彼の地に駐留していることはご存知でしょうか。

チベット ええ。

代理 我々としては、満州に独立国になつてもらいたいですよ。東アジアの諸民族が協和して暮らす理想郷になつてもらいたい。

チベット 結構ですな。

代理　しかしまあ、それが面白くない国も当然あるわけでありまして。結局は日本の植民地だの、日本のいいなりの似非国家だのと……。

チベット　なるほど。

代理　満州国、是か非か。深刻な話つてのはそれですよ。そのため、本来この会議に出席するはずだった全権の松岡君はお隣の会議室へ移動したわけです。代理の私は貴重な休暇を返上。

チベット　はは。

代理　外務省の経費でヨーロッパ旅行だと自分を慰めておりますよ。

チベット　あなたも代理か。

代理　そうなりますな。

チベット　まあ、おたがい代理のよしみで仲良くやりましょう。

代理　ええ。

チベット　しかしなんですな。彼らは来ないんですな。

代理　誰です？

チベット　今、一番差別されてる連中ですよ。

代理　……ああ。

チベット　まあ、差別されてる点ではチベット人もひげはとりませんがな。

代理　はは、なるほど。しかし、我が日本が東アジアで覇権を握ったあかつきには……

そのとき、ソデから女が入ってくる。女はバスケットと、大きな袋を持っている。サウンド・オブ・ミュージックを歌いながら舞台の上上がり、机にバスケットを置く。袋を開ける。中は大量のウ

エース。全員、お菓子里に釘づけ。(この後、チベットはにわかにお食へ始める)

書記官 おそろいですか？

代理 あ、どうも。

チベット そろつてないです。

書記官 みなさん遠いところお疲れ様でした。

代理 あ、いえ。

書記官 私、今回の会議の書記を勤めさせていただきます、へすと申します。

代理 大日本帝国の広田です。

チベット チベットの名もないラマ僧です。

書記官 他の国の代表はいらっしゃらないんですか？

代理 どうやら欠席のようですな。

全員、大量のウエースを見る。

代理 あの…それ…。

書記官 はい？

代理 何ですか？

書記官 ウエースです。

代理 ウエースですな。

書記官 よろしかったらお食へになつて。

代理 気が利いてますな。

チベットがウエースを食べる音がむなしく響く。

代理 解散としますか。

書記官 え？

代理 は？

書記官 それは困ります。

代理 何故？

書記官 ……あ、あの。

代理 たった二カ国しか参加しない、しかも非公式会議で何を話し合うって言うんですか？

書記官 困りますよ……。

再び、チベットがウエースを食べる音が響く。

チベット 開催としましょう、会議。

代理 ……チベットさん。

チベット その呼び方やめてもらえませんか。…いや、私もはるばる中国から予算費^{つか}って来てますから。形式だけでも開きましょう。

書記官 じゃあ、そういうことでよろしいですか？

代理 よろしくありませんよ。今、日本は満州権益の問題で浮沈かかっているんだ。こんな無駄な

会議にかかずらつてらるか！

チベット 代理殿、あんが大騒ぎしたからつてその問題、解決しないでしよう。

代理 しかし…。

書記官 私も仕事なんです。このまま解散というわけにはまいませんわ。

代理 そう申ししても…私だつてヒマな身じゃありませんからね。

チベット じゃあ、なおのこと好都合じゃありませんか。たまには息抜きに楽な仕事もしないかね。

代理 お気楽なことで。

チベット マ二車、速く回すもの、解脱へと至る、なし。

代理 なんですか？それは。

チベット チベットの諺ですよ。急いでも得るものは何もないということです。日本にもそういう

諺、ありませんか？

代理 …フロイライン…ヘス。

書記官 はい。

代理 お隣の会議はどうなってますか？

書記官 膠着状態です。おたくの全権、頑張ってますよ。

代理 そうですか…。

チベット 大丈夫ですよ、日本は。あなたがいなくても。

代理 あんた腹立つなあ。…じゃ、わかりましたよ。形だけ開催して早めに終わらせましよう。

書記官 日本国の決断に感謝します。では、世界人種差別問題会議をここに開催します。

全員、拍手。

書記官 さて、どうしましょうか。

代理 なに、なんにも考えてないの。

書記官、ウエースを食べる。おもむろに代理も食べ始める。全員食べる。

チベット 差別したやつは、死刑。

書記官 あ、それいいねえ。

代理 よくないですよ。

チベット なんで。

代理 まじめにやりましょうよ。一応国際会議なんですから。

チベット 前向きだなあ。

代理 会議しようつて言い出したのはそっちじゃないか。ふざけるなら帰るぞ。

チベット ふざけてないですよ。差別したやつは死刑、私の偽らざる気持ちです。

代理 書記官殿、こういうの国連の常識に照らしてどうなんですか？

書記官 妥当じゃないですかね。

チベット ほら。

代理 バカバかしい…。

書記官 採決に移ります。

代理 おい。

書記官 差別したやつは、死刑。賛成の人、拍手。

チベット・書記官、拍手。

書記官 賛成2、反対1、賛成多数により本案件は人種差別反対宣言に盛り込まれ……。
代理 待て。

書記官 決議に異議は受け付けません。

代理 あんた書記だろう。なに賛成してるんだよ。

書記官 だつてアナタ絶対反対するでしょう。

代理 するに決まってるでしょう。

書記官 なにムキになってるの？

チベット まあまあ、非公式の会議なんですから。

代理 こつちは日本の看板背負ってるんだよ。こんな宣言に署名できるか。

チベット 私だつてチベットの看板背負ってますよ。

書記官 私なんか国連の看板背負ってますよ。

チベット・書記官 ねー。

チベット 自分だけ看板背負ってるつもりでいたら大間違い……。

代理 看板の話はいいよ。ただでさえね、日本は、今、世界の中で孤立しつつあるんだからさ

あ。こんな宣言に日本の名前が出たらどんな風評が立つやら……。

チベット なんか、自分の国ことばっかだね。

書記官 ね。

代理 なに、文句あるなら閉会しましょう。書記官、この会議の即時閉会を要求します。
チベット 却下。

代理 あんた何の権限も無いでしょうが。

チベット 我々はね、存在感が欲しいんですよ。

代理 は？

チベット おたくみたいに大きな国はこんな会議の一つや二つ潰れたってどうってことないんですよ。うけどね。我々は亡命政府ですから。国際舞台でできるだけ存在感を發揮しなきゃ明日にも忘れられちゃうんですよ。

代理 …。

チベット チベットかわいそうだと思って、どうか着席ください。そして賛成の拍手をください。

代理 じゃ、もつと考えて提案してくださいよ。

チベット わかりました。

書記官 では、会議を再開します。全員拍手。

全員拍手。(代理、やる気なし)

書記官 では提案を。

チベット 白人は、全員抹殺。

書記官 賛成の人。

チベットと書記官、拍手。

代理 待ちなさいよ。

書記 またあ？

代理 そりやこつちの台詞だよ。ぜんぜん反省活きてないじゃない。

チベット まつとうな提案だと思っけどなあ。

代理 あんた(書記官)だつて白人だろうが、なに賛成してるんだ。

書記 あら、あたしは今の白人は抹殺されても仕方ないと思つてますわ。

代理 ……そうなの？

書記官 私は白人ですけど、彼らと一緒にされたくはありません。

代理 書記官…。

書記官 悪いのはアングロサクソンではありません。アリア人でもありません。もちろんキリスト

教徒でもありません。悪いのは…。

チベット 彼らに敗北を続ける我々ですよ。

書記官 そう、我々は強くならなければなりません(持っているウハースを握りつぶす。この後、

書記官、ウハースの山を破壊しまくる。チベットは袖で防ぐ)。いまましいローマ人どもにソロモン第2神殿を破壊されてからというもの、我々は流浪を続けました。2000年の流浪、ディアスポラの中で我々は世を生きるにいかなるキレイ事も通用しないことを学んだのですよ。キレイ事はキリスト教徒どもにくれてやろうじやありませんか。今必要なのは、とりわけ力。有無を言わさぬ力です。

書記官…あなたは(ハンカチを差し出す)。

代理

書記官 シオン長老会から派遣されてまいりました。へすです(手をぬぐう)。
代理 大日本帝国の広田です。

迷惑そうなチベット。袖に入ったウエハースのくずを落とす。その際、ふところに入った置物をテーブルに出す。その置物で、長台詞の間中、全員で遊ぶ。

チベット：…あなた。

書記官 はい。

チベット シオン長老会とおつしやいましたね。

書記官 はい。

チベット 大使殿、シオン長老会がいかなる組織かご存知ないのか？

代理 存じますよ。

チベット では、不思議に思われませんか？

代理 何がです？

チベット 軽々に、彼らがこんなところに顔を出すはずがありませんまい。

書記官 現にこうしているではありませんか。

チベット シオン長老会とは、世界中に散らばる金持ちユダヤ人がユダヤ国家を建設し、世界征服を目論む秘密結社のこと。まあ、私も噂でしか耳にしていなのでね。本当に存在しているのかどうかさえ定かではありませんが。

書記官 身の証を立てよということですか？

チベット いや、詮索するつもりありませんが。ただ我々亡命政府はこれ以上の厄介ごとに巻

き込まれるのは、その、ご免こうむりたいんですよ。あなたがただの詐欺や。ペテンなら、私はそのほうがありがたい。

代理 シオン長老会は存在しますよ。
チベットほう。

代理 我ら日本人、ユダヤ民族とは縁浅からない間柄です。日露戦争の折には彼らの長老の一人に多大な国債を買っていた。ご恩もある。彼らの援助がなければとつくに日本は滅亡していただしよう。

書記官 そう恩に着る必要はありません。あなたがたは、世界最大のユダヤ人迫害国家であるロシアを倒してくださいました。そのことに関しては長老の一人、ヤコブ・シフも大いに満足されておりましたよ。

代理 そうですか。幾許いくばくかでも恩返しができたというところですか。

書記官 ええ、これからも日本とユダヤとはご懇意こんいに願いたいものです。

代理 望むところですね。

書記官 また、今回も日本には大いに期待したい。長老会はそう申しております。
代理 ほう。

書記官 今回の会議の意義。一つ、人種、民族差別、および虐待・虐殺に関して、その不正義を批判し、撲滅する姿勢を文章化すること。

代理 結構じゃありませんか。

書記官 一つ、ウイルソンの一四か条に明記された民族自決の原則、実際の履行の国際的承認、また、国際的擁護です。

代理　　ますます結構ですな。

チベット　待ちなさいよ(置物をもう一個出す)。

代理　　あんたそれ、いくつ持つてるんですか？

チベット　たくさん。お土産です。

代理　　はあ。

チベット　差別反対と民族自決ねえ(小さな置物を二つ出す)。

書記官　はい。

チベット　それ、認めたらまずいんじゃないか？

書記官　どうしてです？チベットにとつても好都合でしょう。

チベット　虐待されてる者は、いくらでも暴れて、自由に独立することを認めるってことですよ。

書記官　とうとうと思えばそうともとれますわね。

チベット　世界中紛争だらけになりますよ。

書記官　そうだとっても正義の戦いですわ。

チベット　人が大勢死にます。

書記官　死ぬのは抑圧者と、それに与するものだけですわ。^{くみ}

チベット　そう上手くいきますか。

書記官　それについては用意があります。

チベット　というと。

書記官　われらユダヤ資本が、世界中のマイノリティーの戦いを、資金的、政治的にバックアップするのです。

チベット　世界の混乱を助長されるつもりか？

書記官 新しい秩序への第一歩です。

チベットとても現実的な計画とは思われませんな。いかにユダヤ資本が巨大とはいえ、世界中のすべての紛争を単独で長期にわたって支えることなどできません。それとも利に聡いきとシオン長老会のこと、なにか裏に目的でもお在りか？

代理 どのような目的が裏にあらうと結構ではないですか。書記官殿のおっしゃることは我ら日本が東南アジアで行おうとしていることとピタリ一致します。日本国はこれを支持するでしょう。

書記官 日本の賛同に感謝します。

代理 いやあ。

書記官 チベットさえよろしければこのまま議事を進行したいのですが。チベットお好きに。

書記官 では、世界人種差別問題会議を再開します。

拍手。代理、とりわけ積極的に拍手。

書記官 では、意見を。

代理 差別したやつは死刑、つていうのどうでしょうな。

書記官 じゃあ、それ、賛成の人、拍手。

全員拍手。チベット、消極的に拍手。

書記官 では、この意見を可決します。他の意見は。

代理 アングロサクソンは……死ね。

書記官 賛成の人。

全員拍手。チベット、消極的に拍手。

書記官 では、この意見も可決します。

代理 なんかスムーズですな。

書記官 そうですね。

代理 この分だと早く終わっちゃいそうだなあ。

書記官 そうですね。

代理 ちよつと一服しませんか？私も隣の会議が気になるし。

書記官 結構ですよ。

代理 では、失礼して。

代理、席を立つ。舞台から出て行く。

チベット こんな感じでよろしかったですか？

書記官 上出来です。

チベット ほんなことでは本当にチベットの独立を支援していただけなのか？

書記官 お約束しましょう。

チベット…………。

書記官 これからも我々の意見に賛成するように、日本を仕向けて下さい。

チベット ……一体。

書記官 ?

チベット 何を企んでおられるのか。

書記官 何がです?

チベット あなたの方にとって、こんな会議などどうでもよいはずだ。実際、見ての通り国際的な関

心もうすい。あんたがたが動くからには何か裏に目的があるんでしょう。

書記官 失礼なこと、おつしやられるんですね。

チベット 私は野蛮なチベット人のなかでも勉強家な方ですね。先の世界大戦の折に誰が最も得を

したのか、誰が戦争の裏で糸を引いていたのか、よく知っているんだ。

書記官 ……。

チベット あの大戦争の中、勝ち残ったのはアメリカでも、イギリスでも、フランスでもない。もちろ

ん日本でもない。

書記官 ……。

チベット それは…。

書記官 確かに、我々の同胞のうちの何人かは、あの大戦を通じてかなりの利益を上げました。

そのおかげで我々ユダヤ人は、ヨーロッパ各地の多くの政府機関で要職を占めるようにな

りましたし、国際社会に隠然たる権力を行使していることもチベットさんの申される

とおりです。

チベット ……。

書記官 しかしだからと言って、我々が白人に虐げしいたられていることに変わりはありません。もし、我々の力がチベットさんが申されるほど巨大であったなら、ユダヤ人を弾圧する国家など早々に叩きつぶして同胞を救い出していることでしょう。

チベット ……。

書記官 違いますか？

チベット ……それは、わかっているんだけどね。

書記官 我々は衷心ちゆうしんから、世界の差別を根絶することを願い、私をエージェントとして派遣したのです。出席者がたった二カ国であったのは……残念ですけど。

チベット ……。

書記官 まずは、差別に反対することの正義を打ち立てましょう。この会議の目的はそれです。

また、そのために戦うものには、我々ユダヤが力を貸そう。ただ、それだけです。

チベット ……。

書記官 まだ、何か？

チベット ……いや。

そのとき、代理、血相を変えて戻ってくる。エプロンをして、お盆にお茶を乗せている。

代理 あ、みなさん、申し訳ない。私お先に失礼します。

書記官 どうされたんです？

代理 いや、どうしたもこうしたも松岡さんが。

書記官 松岡さん？

代理 うちの全権大使が突然…帰っちゃったんですよ。

チベット 帰っちゃった？

代理 会議が完全な日本叩きで、松岡さん腹立てちゃつて…あ、じゃあそういうワケで私早退します。あ、これ日本のお茶です。

チベット あ、どうも。

書記官 あ…。

代理 あとこれ、満州まんじゅう。

チベット 満州まんじゅう？

代理 そう、満州鉄道が開発した満州土産です。満州まんじゅう。

チベット くだい名前だなあ。

代理 味はジャージャー麺と水餃子の二種類で…。

書記官 すいません…。

代理 ああ！失礼、一箱しかないんですよ。あとでお部屋のほうに運ばせますから。

書記官 そうじゃなくて…。

代理 じゃ、失礼。

書記官 あ、ちよつと。

代理、大変な勢いで出て行く。呆然と取り残される二人。

チベット さて、どうしましょうか。

書記官 ……。

チベット どうも、抜けた展開になりましたね。

書記官 ……。

チベット そうそう思惑通りにはいきませんでしたな。

書記官 ……そうでしょうか？

チベット ……。

書記官 長老会は計画したことは必ず遂行します。

チベット 余裕ではないですか。しかしこの状況はどうにもなりませんまい。

書記官 ……。

チベット それとも…チベットが何か力になれますかな？

書記官 ……。

チベット 無力さだけが自慢のチベットが…なにか。

書記官 うれしそうに言うことじゃないですよ。

チベット ……。

書記官 ……チベットさんは。

チベット はい。

書記官 私の意見に賛成してくれますか？

チベット ……さつきから…。

書記官 はい。

チベット 賛成しているではないですか。

書記官 そうではなく…心から。

チベット 心から賛成して欲しいなら、腹を割りましょう。

書記官 というと？

チベット 本当の気持ちを話してください。長老会の真意がうかがいたい。

書記官 真意？それなら先ほど……。

チベット 差別反対ですか？ウソでしょう。

書記官 ……。

チベット 長老会はユダヤ教徒が得になること以外は決してしません。

書記官 ……。

チベット この世界で異教徒に対して最も差別的な宗教はユダヤ教ですからね。

書記官 ……。

チベット 世界の金の10パーセントを握り、圧倒的な政治力を持ちながら、ナチス党を野放しに

し、一方では、こんな小さな会議を開くのに意を用いている、長老会の真意を知りたいのですよ。

書記官 ……。

チベット この会議の目的が何であるのか……是非知りたい。

書記官 長老会は……ディアスポラに終止符を打つことを決断されました。

チベット ほう。

書記官 つまり、我々の国を持つということです。しかし、この地球上に、我々が国を樹立するための土地が残されているでしょうか？

チベット ああ、ないね。

書記官 我々がこの地上で国を持ちうる条件は、欲しい土地から住民を追い出し、そこに我々

チベット 旗を打ち立てるといふこと。
なるほど。

書記官 その上で、必要なのが民族自決の原則です。これによつて我々は旧約聖書に約束された土地、シオンの丘を不法占拠している民の手から取り戻すため、必要な力を行使することができます。

チベット 待ちなさい。

書記官 はい。

チベット あんたそれ、本気で言つてるのかね？

書記官 我々は本気ですが？

チベット 旧約聖書つてのは紀元前の大昔に書かれた本でしょう？

書記官 はい。

チベット そんなものを根拠にパレスチナの住民を追い出されるおつもりか？

書記官 そのつもりです。

チベット 私にその片棒を担げとおっしゃるのか？

書記官 チベットさん、この世界は結局のところ力と力の戦いです。このことがユダヤ教徒以外に根拠があるうとなかろうと、現在力を持つている我々の理屈は押し通つていくのですよ。

チベット それだけの自信がおありなら、民族自決だろうが国家再興だろうが独力でグイグイ進めていったらよいではないですか。なぜ我々のような弱小勢力を当てにするのです。

書記官 それは…。

チベット それは？

書記官 ……

チベット ……

書記官 ……ちよつと、失礼します。

書記官、突然席を立つ。

チベット 書記殿！

書記官 所用を思い出しました。

チベット ごまかされるな。

書記官 ……ごまかしなど。

チベット チベットは…。

書記官 ……

チベット 協力できません。

書記官 ……今更。では独立支援はなかったことになりましたが…。

チベット 毒蛇の頭に宝石あるとも。

書記官 ……

チベット 毒蛇を胸に抱く^{いだ}だろうか。

書記官 ……また諺ですか？

チベット どんなにすばらしい話でも、語るものの心が悪ければ信じることはできません。

書記官 ……使いすぎるといけないものが三つある。

チベット ……

書記官 それはパンのイースト、塩、ためらい。

チベット …。

書記官 我々は両手を広げて待っています。飛び込むかどうかはご自身で決めてください。

チベット …。

書記官 しかし、ユダヤではこうもいいますがね…偶像を拝む者、罪を犯す者、掟と預言者を否む者は、これを殺すべし。

チベット …。

書記官 先ごろ中国国民党とコンタクトしました。武器援助の話でね。

チベット …。

書記官 我々が要求した見返りは二つ、満州国境付近で日本軍を挑発し続けること、もうひとつは…パンチェン・ラマ九世の監視です。

チベット !

書記官 亡命政府の命運はあなた次第。失礼。

書記官、部屋を出て行く。立ち尽くすチベット。そこに代理、再び入ってくる。ただ事ではない慌てぶり。

代理 チ、チベットさーん。

チベット …。

代理 ちよつと、チベットさん。

代理、チベットの目の前で手を振る。チベット、微動だにしない。

代理 まったく、どいつもこいつも！

代理、チベットを椅子に座らせる。

代理 起きてますか！チベットさん。

チベット、焦点の定まらない目で頷く。

代理 結構。では、私の話をよく聞いてください。

チベット、頷く。

代理 さっき、出て行ったあと、私、必死に松岡さんを探しました。ロビーを探し、給湯室を探し、ビュッフェを探し、もう、とにかく、どこからどこまで隈なく探しました。で、最終的に我々の寄宿するホテルまでたどり着いたんです。私は松岡さんの部屋の前に立ち、軽くノックしました。トントーン。すると部屋の中からやや重たい声で……「入りたまえ。」という返事が聞こえてきました。

上手の袖からKKKの格好をしたヘスが、人形を二体持って入ってくる。ヘス、音響の流す台詞に

合わせて人形を操る。

松岡 入りたまえ。

代理 松岡さん、一体どうしたというんですか。会議を突然退席するなんて。

松岡 広田君、私はねえ、私は……絶望してしまっただよ。

代理 何を弱気なことを！あなたの絶望がどんなものかは知りませんが、しかし、あの場であんな態度を取れば満州国、ひいては日本の将来が危うくなるのですよ。

松岡 君は何も知らんのだな。

代理 何がです！

松岡 我々はすでに、とてつもなく大きな力に包囲されているのだ。

代理 そんなことは分かっています！シヤムを除くすべての国々が、満州国承認に反対票を投じたらしいですな。どうせアメリカあたりが裏で糸を引いてるんだ。英国は条件付なら日本の満州権益に賛成しているというではありませんか。この際、ある程度譲歩して英国を味方に……。

松岡 ……もう事は、そんな小さな問題ではない。

代理 松岡さん……。

松岡 誰が味方だとか、アメリカがどうしたとか……もうそんな次元の話ではなくなっちゃったんだ。

代理 ……私にはよくわかりませんが……とにかく議場に戻りましょう。このままでは戦わずして敗れたも同然です。

松岡 広田君、私はね……今ここで、死ぬつもりだったんだ。

代理 …何をおっしゃるんですか。

松岡 独りにしてもらえないか…失敗すると恥ずかしいのでね。

代理 いけません！

松岡 頼むよ、独りにしてくれ。

へス、人形とともに退場。音響、ストップ。

代理 独りになんかできるわけないだろう。

チベット…。

代理 そういうわけでしてね…連れて来ちゃったんですよ。松岡さん、ここに…。

チベット…。

代理 だって、置いてくるわけにはいかないでしょう、ねえ。とはいえ、私、隣の会議のほうもそのまましておけませんのでね。あの…チベットさん…。

チベット、うつむいていた顔を少し上げる。

代理 見ててもらえませんか…松岡さんのこと。

チベット、ゆつくり頷く。

代理 ありがたい！では、よろしく。

代理、出て行くこうとするが、振り返って付け足す。

代理 そうだ…あの、松岡さんの前で、決して満州とか、そういう言葉を使わないで下さいね。

今、かなりナイーブになってますからね。では、よろしく。

代理、松岡さん、松岡さん！とか言いながら退場。入れ替わりにソフト帽とコートを着た松岡が入ってくる(代理の役者が扮装)。松岡、無言で上手の席に腰掛ける。

松岡 ……。

チベット ……。

松岡、ため息をつく。同時にチベットもため息をつく。

松岡 人生とは…悩み多いものですなあ。

チベット ええ。

松岡 私は…長年、国家の柱石たらんと…努力してきたつもりでした。

チベット ええ。

松岡 ……それが…その国家が…危機に瀕しているというのに…私は何の役にも立てなかった…分かりますか？

チベット 分かります。痛いほど。

松岡 ああ、これから日本国はどうなってしまうのか……。

チベット 大丈夫ですよ。何の心配もありません。

松岡 慰めはよしてください。余計な計みじめになります。

チベット 慰めではありません。少なくとも、日本国が地図から消えることはないでしょう。

松岡 現に、今その危険が迫っております。そのために私は今悩んで……。

チベット いやあ、おたくらが、まん……大陸から出て行けば本国まで取られることはないですよ。たぶん。

松岡 大陸を手放す？そんなことをしたら共産主義者どもが南下を始めますよ。

チベット いや、難しいことは分かりませんがねえ。なにしろバカなもんで。しかし、帰る国は残るのでしょうか？違いますか？

松岡 はは、ポリシエビキどもが南下を始めたらペンペン草一本残りませんよ。彼らは共産主義拡大を口実に凍らない港が欲しいだけなんですから。

チベット しかし、まん……いや、大陸の領土を取られたからといって、今日明日、滅びるような弱い国ではないでしょう、日本は。

松岡 冗談ではないですよ、日本が大陸に投資した金がいくらになると思ってるんです！移民も進んでいる。彼らを見殺しにはできない！

チベット いやいや……甘い考えでいらつしやる。

松岡 何を！愚弄する気ですか！

チベット 我々、チベット亡命政府はイギリスに追われ、ようやく国に帰れたと思ったら、今度は同胞のダライ・ラマに追われました。我々は帰る国もないのです。あんたらは恵まれて

ますよ。それに、まんしゅ……いや、大陸の土地は、他所様よそを押しつけて取った土地でし

よう？そんな場所に長居できると思ったら大間違いですよ。

松岡

何をおっしゃるか。今まで白人と対等に伍してきたのは我々日本だけです。あなたがたが国のあり方を改めずに白人に連戦連敗するから、日本が一人でこんなに苦勞しているのではないですか。大陸進出も、日本がアングロサクソンと渡り合うための必要な布石。力がなければ国は守れません。

チベット しかし、日本が白人の覇道を批判するならば、最後の最後まで話し合いで解決する姿勢を捨ててはいけないのではないのですか？

松岡

キレイ事を、そのようなことを言っているからあなた方は国を失う羽目になったのですよ。

チベット …。

松岡

いや、辛辣に過ぎましたかな。しかし、お分かりでしょう、我々は東アジアの諸民族の平和を願って、その力を糾合しようとしているのです。悪いようにはしません、あなたも我々の側について、力を貸してくれませんか？

チベット

しかし、まん…あ、いや、大陸の土地は、日本人のみが権力を握る操り人形…つまり傀儡国家でしょう。あなたがたは、我々、亡命政府も自分の思うがままに操ろうとなさるに違いない。

松岡

…ふん、近視眼的ですな。この世界自体が、もっと巨大な力に操られようとしているのに。

チベット …。

松岡

…真相をご存知か。

チベット ええ。

松岡 では、ますます我らの傘下に入られることをお奨めする。心配召さるな、わが日本国の指導により、各地の政権が安定した暁には、統治権を迅速に返還！日本軍は即時撤退！鉄道をはじめとするインフラは委譲、もしくは格安で売却します！ふふ…そして全ての国が独立を達成した暁には、東京を中心とする物流網が、大陸の各都市に張り巡らされるのです！

チベットでも無くなるんですよ、満州。

松岡 …。

チベットあ。

松岡 なくなんないもん！

松岡、泣きながら走り去る。入れ替わり、書記官が入ってくる。書記官、かなり激しく中世めいた格好をしている。チベット、度肝を抜かれる。

書記官 ただいま。

チベット おかえりなさい。

書記官 …彼、どうしたんですか？

チベット まあ、色々。

書記官 ふーん。

チベット …どちらまで？

書記官 ちよつと、世界旅行に。

チベット？

書記官 諸国民の王として、挨拶を。

チベット はあ。

書記官 仕事を終えたロバたちを誉めてあげたのですよ。

チベット ……ロバ？

書記官 ところで、どうします？我々に協力いただけるのですか？

チベット ……はい。

書記官 賢明な判断です。

チベット 国がなくなつては元も子もありませんよ。

書記官 そうですね。我々もそのことで散々苦労しました。

チベット これでわが主の命は担保していただけるのですな。

書記官 ご安心なさい。

チベット ……。

書記官 彼の命は助けます。…しかし、永久に拘束します。

チベット ！

書記官 我々はすでに契約しました。契約が履行されたあかつきには解放しましょう。

チベット ……。

書記官 獣には口で言っても分からない時がありますからね。

チベット ……。

そのとき代理、血相を変えて入ってくる。両手には日本刀、ガスマスクにハチマキといういでたちである。

代理 いた！ユダヤ！

書記官 あら、ごきげんよう。

代理 ごきげんようじゃない。

チベット どうされた、血相を変えて。

代理 あんたら、満州国を認めないように圧力かけたろ。

チベット はて、私は何も。

代理 あんたは関係ない。シオン長老会は日本に何の恨みがあるんだ！

書記官 なんのことですか？

代理 そらつとぼけやがつて。ネタは上がってるんだよ！

チベット どういうことですか？

代理 どういうこと？その女に聞け！

書記官 ……。

チベット まあ、落ち着いて。

代理 これが落ち着いていられるか。

チベット 一体、どうされたんです？

代理 ……ここを出たあと。

書記官 ……。

代理 松岡さんの無礼を詫びるために、私はあっちこちの大使館回って頭を下げたんだ。

書記官 お気の毒。

代理 白々しいな。

チベット それでどうしたんです。

代理 謝る必要はないと言われたよ。

書記官 良かったじゃありませんか。

代理 貴様あ。

チベット まあまあ、で、どうしたんです。

代理 みんな苦笑いしてね、松岡君には同情すると。

チベット ほう。

代理 我が国が日本と同じ立場だったら我々も腹を立てたろうと言ってたよ。

書記官 …。

代理 「ならば何故、日本の満州権益に賛成してくれなかったのか？」私は彼らに尋ねた。

書記官 不思議ですね。

代理 ……(悔しい表情)。

チベット 書記殿。

代理 彼らは言った。「詳しいことは言えない」と。

書記官 ……。

代理 また、こうも言った「我々は、ミス・ヘスの言うとおりにしているだけだ。事情はミスに直

接聞きたまえ」と。

書記官 …。

代理 …。

代理 その後はどこの大使に聞いても、同じ答えが返ってきた。ミスに聞け、マドモワゼルに聞け、

フレイラインに聞け。

書記官 ……。

代理 あんた、一体何をしたんだ！

チベット、書記官の顔を見る。代理、懐から紙を出す。

代理 今、本国政府から打電が来たよ。「国際連盟脱退もやむなし。全権及び代理は速やかに帰国の途につくべし。」

代理、紙を投げ捨てる。

代理 どうすんだよ、おい！陸軍も海軍も完全にやる気だぞ！

チベット 軍？

代理 うちはなあ、軍が強くなってクーデター寸前なんだよ！

書記官 まあ、こわい。

代理 あんたのほうがよく怖いよ！いいか、連中は、このまま行けば我が国と英米は一戦免れないと思っている。こういうやつらが政権をとったらどういうことになるか、あんた分かっているのか？

書記官 まあ…戦争ですわね。

代理 世界戦争だよ！世界戦争！あんた…いや、シオン長老会は、たった一つの会議で…世界のバランスを完全に崩しちまったんだ！

書記官 ……。

代理 一体何が目的なんだ？世の中タダでさえ騒がしいつてときに……また殺し合いをあおるようなことをして。一体、お前ら何が目的なんだ！

書記官 日本国。なぜ、それほどに戦を恐れますか？

代理 は？

書記官 なぜ、それほどに戦いを恐れるのですか？

代理 恐えよ。当たり前じゃねえか。白人と戦って負けたら満州どころかお国がなくなつちまうんだぞ。

書記官 勝てばよろしいのです。

代理 ……

書記官 お勝ちなさい、日本。

代理 勝てねえよ。勝てねえよ！頭おかしいのか、ユダ公！アメリカとイギリス相手だぞ！日本が単独で勝てるわけねえだろうが！

書記官 組めばよいではないですか、適当な国と。

代理 どこと組めつて言うんだよ。今、アメさんとイギリスにケンカ売ろうなんて国は世界中どこ探したつてありやしないよ。

書記官 ドイツは？

代理 ドイツ？何言つてんだよ！借金漬けでフーフー言つてるじゃねえか。戦争する力なんかあるか！

書記官 イタリアは？

代理 国力も話にならねえが、風向き次第ですぐに裏切るからよお、あいつらは。
書記官 ソヴェエトは？

代理 共産国なんかと組んでみる。アメリカとイギリスどころかヨーロッパ中を敵に回すぞ。
書記官 困りましたねえ。

代理 もとはといえはテメエらが悪いんじゃないか！他人事みたいに。

書記官 では、ユダヤ資本ではいかがですか？

代理 ……なに？

書記官 ユダヤ資本では不足ですか？

代理 ……。

書記官 日露戦争を思い出ししてください。

チベット ……。

書記官 当時の日本は大国ロシアと渡り合うことなどできなかった。戦争を遂行できたのは誰と

組んだおかげですか？

代理 ……恩を売るつもりかね。

書記官 そうではありません。ただ、我々は日本を応援する準備があると言ったんです。

代理 ……。

書記官 ユダヤ資本と組めば、資金調達、同盟締結、政治的根回し…思いのままです。

チベット 待たれよ。

書記官と代理、チベットを見る。

チベット 今までユダヤと組んでしてやられた国はあっても、得した国はありません。
書記官 ……。

チベット 今回もきつと裏があります。少なくとも決して日本の得には……。

書記官 役立たずのチベットはお黙んなさい。

チベット これは日本だけの問題じゃない。日本が英米と戦ったらそれこそ世界中メチャクチャになります。チベットだって無傷ではられない。どうか思いとどまられ……。

書記官 我々の政治力を以つてすれば……。

チベット ……。

書記官 一亡命政府を取り潰すぐらいたやすいのですよ。

チベット ……はい。

書記官 どうされますか？ユダヤと組んで戦い勝利するか。このまま滅びるか。

代理 恐喝ですか？

書記官 取り引きです。

代理、苦笑い。

代理 選択の余地なんてないでしょうが。

書記官 商談成立ですな。

代理 あんたらのうまみは？

書記官 うまみ？

代理 商談でしょ？こつちだけ一方的に得するつてんじやソロバンが合わないよ。

書記官 このままアングロサクソンに一人勝ちもさせておけないでしょう。

代理 それだけかい？

書記官 あなたがたは、それ以上知る必要はありません。

代理 ……。

書記官 まず、この会議の内容に、賛成してください。

代理 はいよ。

書記官 あと、この会議に、できるだけ多くの国や団体が出席したことにしてください。

代理 承知。

書記官 チベットさんも。

チベット はい。

書記官 今後…日本は決して満州を手放さぬように。

代理 はい。

書記官 近くヨーロッパで、大量のユダヤ人難民が発生するでしょう。日本は東欧から満州經由で、彼らをアメリカに逃がしてください。

代理 はい。

書記官 あとはこちらで何とかします。日本はアングロサクソンと戦って…お勝ちなさい。

代理 ……はい。

書記官 では、着席を、世界人種差別問題会議を再開します。

代理・チベット はい。

書記官 我々は、世界に存在する全ての人たちが、差別から逃れることを、認めます。

代理・チベット 認めます。

書記官 虐待から逃れるためには、戦いも辞さず。

代理・チベット 辞さず。

書記官 独立し、国を持つことを許します。

代理・チベット 許します。

書記官 また、傷つかぬために戦わない自由を認めます。

代理・チベット 認めます。

書記官 差別されるもののために戦うものを認めます。

代理・チベット 認めます。

書記官 その戦いに見返りを求めることは、許さない。

代理・チベット ……。

書記官 我々が傷つかない権利を、ここに宣言します。

代理・チベット 宣言します。

書記官 ありがとうございます、十分です。汝らが存在することを、許します。

代理・チベット 許されます。

書記官 アーメン。

完

※本作品を使用して上演する場合には、事前に権利者の許可を受ける必要があります。また、上演したものを記録する場合は、作者に上演ならびに複製(記録映像作成)許可料を支払うことで、脚色・改変等含めての使用と、上演したものを映像等に記録することが出来るようになります。

○上演ならびに複製許可料について

アマチュア・学生団体の無料での公演でも、原則として 5000 円を頂戴します。
プロの団体の公演(有料・無料問わず)、及び、アマチュア・学生の団体の有料での公演については、座席数・ステージ数・チケット料金等を考慮して金額を提示させていただきます。

○非営利・無料・無報酬での上演

著作権法第 38 条 1 項により、非営利・無料・無報酬での上演について、無許諾かつ著作権使用料無料での上演は可能です。ただし、第 50 条の「著作者人格権に影響を及ぼすものと解釈してはならない」という条文により、これには以下の条件が付加されます。

- ・作品名と作者名を明示する。
- ・台本に変更を加えない。題名も変更しない。
- ・上演の映像・音声記録をしない。またそれを勝手に複製して配ったり販売したりしない。
- ・非営利な活動である。(営利団体からの協賛・後援等も受けない)
- ・入場料などを受け取らない。(おひねりやカンパ、グッズの売り上げも含む)
- ・上演に際して、誰も報酬を受け取らない。(交通費など最低限の実費は除く)

以上の条件を満たせば、著作権法上は作者に断りなく本作を上演できます。
しかし、できることなら以下までご連絡頂きたい。



劇団！王子の実験室
O-Ji laboratorium

主宰 田口 浩一郎
Koichiro Taguchi

〒231-0054 横浜市中区黄金町2-7先 黄金スタジオD
Tel. 090-4926-9732
✉ oozino@icloud.com



よろしくお願い致します。